

# コミュニティマネジメント・リサーチ 説明資料

( 秋学期 / 金曜 / 3 限 / 土肥・水野 )

## ■ 講義の狙いと目的

この講義は、地域やコミュニティの現状・課題に関する問いを組み立て、現地フィールド調査を実施するための調査方法や調査技法を、グループワークなどを通じて具体的に探っていく科目です。コミュニティマネジメントを学ぶために必要な基本的な視点、姿勢、技法等を修得することを目標とします。2023 年度は、受講生の関心を踏まえて、各人のフィールドを設定し、その周辺コミュニティの現状に関するデータを収集することを目指します。

## ■ 今年度の「フィールド」は参加する受講生が自主的に決定します

- 例)「おばあちゃんの原宿」として知られる「巣鴨地蔵通り商店街」の秘密を探る
- 例)「チェーン店お断りのまちづくり」を目指す小田急電鉄による「下北沢線路街」の魅力とは
- 例)三鷹駅から徒歩 20 分のシャッター商店街から次々と起業する仕掛けとは
- 例)外国人観光客に愛されている下町の路地空間の魅力とは
- 例)「ハケの道」を守る会はなぜ道路の拡幅に反対するのか etc.

## ■ こんな人に向いています

- ✓ 地域で起きている問題や社会現象について、自らフィールドに足を運んで探求したい人
- ✓ フィールドにおける生の情報を、五感を通して掴み取り、自分の言葉に置き換えてみたい人
- ✓ 卒業論文等で使える調査技法(インタビュー法や参与観察法)を学び、調査能力を向上させたい人
- ✓ フィールドに入っていく際の、マナーや作法等を身につけたい人
- ✓ 毎回の講義に出席し、自分に与えられたテーマ報告や調査報告をしっかりと行える人

## ■ その他(注意)

この講義の定員は最大 20 名です(定員オーバーの場合、人数調整があります)。また、11 月中に大学での講義がない「調査期間」を設定しています。詳しくは、9 月の初回ガイダンス時(要出席)の資料で確認してください。また、初回ガイダンス時には、自分が調査してみたい「テーマ(案)」や「フィールド先(案)」についてのレジュメを持参することが必要です。関心をもった新聞記事・雑誌記事等を添付の上、興味をもった理由やその問題の背景を A4 で 1 ページ程度にまとめ、2 セット印刷(教員分)してください。

## ■ (参考)2019～2021 度の主な「テーマ」と「調査フィールド先」例

- ✓ 「町並みを活かした地域の魅力向上」(奈良県宇陀市／松山地区はならあと実行委員会)
- ✓ 「住む町としての都市郊外の課題とサステナビリティ」(神奈川県緑区／若葉台自治会ほか)
- ✓ 「都市と地方を繋ぐ拠点づくり」(株式会社 OReNAS、Tomoshihi)
- ✓ 「大型ショッピングモールと地域コミュニティ」(東急グランベリーパーク)
- ✓ 「国立市における子ども食堂の実態調査と子育て環境」(国立市の 10 の子ども食堂)
- ✓ 「全面喫煙可能カフェの実態」(神保町の 6 つのカフェ)
- ✓ 「廃校をどう活用するか」(立川市／たまがわ・みらいパーク／たちかわ創造舎)
- ✓ 「空き家の管理と利活用」(東村山市役所／NPO 法人空家・空地管理センター)
- ✓ 「Jリーグクラブと地域コミュニティ」(株式会社川崎フロンターレ／川崎フロンターレ後援会)
- ✓ 「サードプレイスの探求」(国立市/カフェここの)
- ✓ 「食品ロスをどうなくすか」(多摩市/NPO 法人シェアマインド)
- ✓ 「修景事業とまちづくり」(長野県小布施町)
- ✓ 「オーバーツーリズム脱却には何が必要か」(合掌ホールディングス(株))
- ✓ 「地域づくりインターンの会の活動が地域に及ぼす影響」(熊本県小国町)、ほか